

カラーバリエーション



マイルドブラック ライトグリーン パステルブルー グレー シルバー アイボリー ホワイト

※この色見本は印刷の関係上、実際と若干異なります。※受注生産となります。(納期2週間程度)

施工上の注意事項

- ・降雨が予想される場合や、気温が5℃以下や、高温時(80%以上)は施工は避け、天気の良い日を選び施工して下さい。
- ・下地が湿っている場合は、十分に乾燥させてから施工して下さい。※湿ったままの施工は膨れ、剥がれの原因になります。
- ・入隅、役物の施工は、液溜りの無いように塗布して下さい。※液溜りは割れの原因になります。
- ・下塗り乾燥後、ガムテープ等でパッチテストを行い、付着確認を行ってから、上塗りを行って下さい。
- ・洋風コンクリート瓦(モニエル瓦)や粘土瓦(いぶし瓦、釉薬瓦)には施工しないで下さい。
- ・塗料は、固形物が浮遊、分離する場合がありますが、品質には問題ありません。十分攪拌してから、使用して下さい。

安全衛生上の注意事項

取扱い上の注意事項

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護眼鏡、保護マスク等)を使用して下さい。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- ・残った塗料は、袋内の空気を押し出し密閉し、5℃以上、40℃以下の室内で保管して下さい。
- ・子供の手の届かないところへ保管して下さい。
- ・塗料をやむをえず破棄する場合は、産業廃棄物として処理して下さい。

緊急時及び応急処置

- ・塗料が目に入った場合は、直ちに多量の清水で洗い流し、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料が皮膚に付着した場合は、濡れた布等で拭き取り、多量の清水と石けん水で洗い流して下さい。
また、塗料が付着した場所が、かぶれや炎症が起きた場合は、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- ・塗装中や乾燥中は、換気を行い、塗料飛沫や乾燥蒸気を吸い込まないようにして下さい。
誤って塗料飛沫や乾燥蒸気を吸込み気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けて下さい。
- ・塗料を誤って飲み込んだ場合は、水道水等で口の中をすすぎ、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- ・容器からこぼれた場合は、土砂等を吸着させてから容器に回収し廃棄して下さい。
- ・塗料についての詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

Drape Hyper Cool

環境にやさしい水性塗料

Drape Hyper Cool

遮熱塗料

ドレープハイパークール

建物室内への熱エネルギーの侵入を防ぎます。

省エネ

遮熱効果

耐候性

耐汚染性



ドレープフィーチャリング株式会社

東京営業本部 〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-4-6
富士エレベータービル 2F
TEL.03-6260-9709 FAX.03-4243-2328

drapefeaturing

本社 〒158-0097 東京都世田谷区用賀 2-29-24

特徴

- 01 太陽光の近赤外線を効率よく反射させる特殊中空バルーンと優れた熱反射機能顔料を使った遮熱塗料です。
- 02 高耐候アクリルシリコン樹脂を採用のため、耐候性や耐水性に優れています。
⇒促進耐候性試験(キセノンウエザーメーター 2000 時間：光沢保持率 90% 以上)
- 03 特殊中空バルーンにより耐汚染性に優れ、経時的な汚染付着物も高圧洗浄で初期塗膜に近い状態を得られます。
- 04 環境に配慮した水性塗料です。
- 05 防藻・防カビ材を配合。

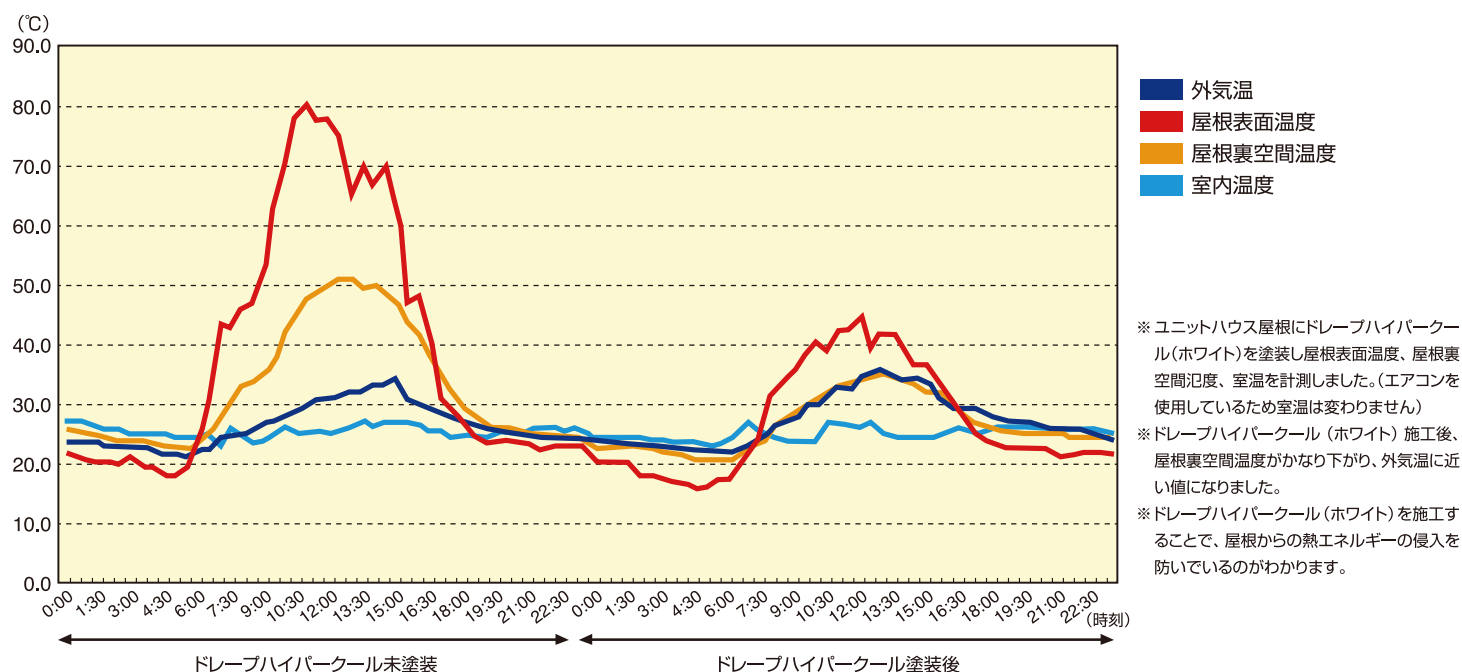
優れた遮熱性能

塗膜の物性

熱伝導率 (W/m·K) **0.19** (日本塗料検査協会)
熱還流率 (W/m²·K) **475** (膜厚 400μm)

※熱還流率とは、熱の伝えやすさを表す数値。小さいほど断熱性能が良い。

■現場事務所休憩室 遮熱塗料ドレープハイパークール未塗装時と塗装後の温度測定



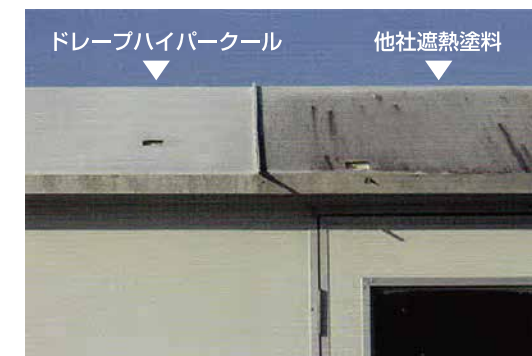
優れた遮熱性能

耐汚染性

耐汚染性に優れているアクリルシリコン樹脂と特殊中空バルーンを使用することで、優れた防汚性を発揮します。

■他社遮熱塗料との耐汚染性比較 (屋外暴露試験)

ドレープハイパークール(ホワイト)と他社遮熱塗料(ホワイト)を塗装した物置屋根を屋外で暴露。



標準塗装仕様

■鋼板屋根など

工程	材料名	使用量	施工方法	希釈	施工間隔
素地調整			<ul style="list-style-type: none"> ●鋼板の劣化部位は電動サンダー、ワイヤーブラシ、スクレーパー等を用いて入念に除去して下さい。 ●素地表面に付着している塵、ほこり、コケ等は高圧洗浄(7~10MPa)にて除去して下さい。 ●素地に油分等が付着している場合は脱脂して洗浄して下さい。 ●素地に塗装がされている場合はサンドペーパー等使用し面を粗して行って下さい。 ●高圧洗浄等した場合は、素地を十分に乾燥させて下さい。 		
下塗り	ドレープハイパークールプライマー(白)	0.15kg/㎡	刷毛・ローラー	原液	2時間以上
上塗り	ドレープハイパークール	0.2kg/㎡	刷毛・ローラー・吹付け	原液	2時間以上
上塗り	ドレープハイパークール	0.2kg/㎡	刷毛・ローラー・吹付け	原液	—

注)上記は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件により変わります。

■ストレート屋根など

工程	材料名	使用量	施工方法	希釈	施工間隔
素地調整			<ul style="list-style-type: none"> ●素地の脆弱部位(旧塗膜の剥離、浮き等)は除去して下さい。 ●素地の亀裂、くぼみ、穴等は事前に下地処理して下さい。 ●素地表面に付着している塵、ほこり、コケ等は高圧洗浄(7~10MPa)にて除去して下さい。 ●高圧洗浄等した場合は、素地を十分に乾燥させて下さい。(乾燥は夏場でも1日以上) 		
※下塗り(下地調整)	ドレープハイパークール浸透シーラー	0.2kg/㎡	刷毛・ローラー	原液	3時間以上
下塗り	ドレープハイパークールプライマー(白)	0.15kg/㎡	刷毛・ローラー	原液	2時間以上
上塗り	ドレープハイパークール	0.2kg/㎡	刷毛・ローラー・吹付け	原液	2時間以上
上塗り	ドレープハイパークール	0.2kg/㎡	刷毛・ローラー・吹付け	原液	—

注)上記は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件により変わります。
※下地(基材)が劣化し、吸水する場合はドレープハイパークール浸透シーラーをご使用下さい。